



発行
 岩手県立花北青雲高等学校
 青雲同窓会
 〒028-3172
 岩手県花巻市石鳥谷町
 北寺林11地割1825番地1
 TEL 0198 (45) 3731
 FAX 0198 (45) 3746
 発行人
 会長 藤原康洋

「平成を振り返って」



同窓会会長

藤原康洋

日頃より同窓会の活動に
 対し、ご支援、ご協力を賜
 り、厚く感謝申し上げます。
 いよいよ今年四月末で平
 成時代が幕を下ろすことか
 ら、新元号への関心ととも
 に、平成の出来事を振り返
 る新聞記事やテレビ番組が
 目立つ今日この頃です。私
 も昭和、平成そして次の年
 号と三つの時代を経験する
 ことになりました。西暦では、
 一九九九年から二〇〇〇年
 に変わる際に様々な問題が
 起こると騒いだ記憶があり
 ますが、それ以降はたまた

んと続いていきます。日本で
 は年号により時代の区切り
 がつけられ、大きな節目と
 なっています。一年ごとの
 区切り、一週間の区切り、
 そして仕事の区切りなど、
 暮らしていくうえではやっ
 ぱり「区切り」が欲しいで
 す。終点の見えないことを
 際限なく続けることは、相
 当の気力・体力が必要で心
 身に無理がかかります。自
 動車学校ではありません
 が、第一段階終了、第二段
 階終了というふうな区切り
 をつけ、階段の踊り場のよ

うにほっと一息つく時間、
 余裕がほしいです。体力的
 にも精神的にも粘りがなく
 なってきている自分です。
 今年は何事も細かく区切り
 をつけながら、息切れしな
 いよう前に進む一年とした
 いものです。
 さて、本校においての平
 成の出来事では、平成三年
 に第二体育館完成、平成六
 年に創立二十周年、平成
 十六年に創立三十周年、そ
 して平成二十六年に創立
 四十周年を迎えました。が、
 数ある出来事の中でも一番
 は、平成十五年四月に「総
 合的専門高校 花北青雲高
 等学校」として新たなス
 タートを切ったことではし
 ょう。花北商業高校時代の一
 学年が商業科三学級だった
 ものが、ビジネス情報科二
 学級、情報工学科と総合生



活科各一学級を合わせて四
 学級となり、新設科に対応
 した施設の整備にとどまら
 ず、商業科系についても時
 代に即応した設備を導入す
 るなど、優れた教育環境が
 整った新校舎を整備してい
 ただきました。
 しかしながら、あれから
 十二年。平成二十七年十二
 月に新たな県立高等学校再
 編計画が示され、本校は平
 成三十二年度からビジネス
 情報科が一学級減となるも
 のでした。本計画は時間を
 かけて様々な角度から分
 析・検討した結果でしよ
 うし、少子化の影響も大きい
 と思いますが、花巻市・北



新入生応援歌練習

上市を包含する岩手中部地
 区に公立の商業科系が本校
 の一学級だけというのさ
 びしい気がいたします。
 本同窓会は、昭和四十九
 年に結成されましたが、平
 成三十年度の卒業生一六三
 人が入会し、現在の会員数
 は六八六八人となりました。
 今年は平成から新しい
 時代へと移行します。学校
 創立五十周年も近づいてき
 ておりますので、これから
 も同窓会員の皆様には同窓
 会活動にご理解をいただ
 き、会員間のネットワーク
 を広げながら、ご支援くだ
 さいますようよろしくお願い
 いたします。

競争から協創へ



花北青雲高等学校

校長 佐藤 睦朗

日頃、同窓会の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。おかげさまで、今年度の教育活動も順調に推移し、進路の方も公務員二桁、国公立大学七名合格など、ほぼ固まっております。また、部活動等においても新人大会においてバドミントン部女子が優勝、卓球部男子が第三位、ソフトボール部女子が第三位、野球部がベスト8入賞、さらには英語スピーチコンテストやマイコンカーなどの分野でも全国大会出場するなど文武両面で成果を上げているところであります。

さて、急激な少子高齢化の時代がやってきて、子どもの数が年々減少してきています。今年六十歳を迎えた昭和四十九年三月の中学卒業生二万七四一二人をピークに、本校が総合的専門高校となる平成十五年三月卒業生は一万五七四八名、そして来春平成三十一年三月卒業生は一万一一四一名となっております。その後も減少が進み、六年後の平成三十七年三月の中学卒業生は一人を割って九八五三名となります。ピーク時の昭和四十九年と来春の卒業と比べると一万六二七一名も少なくなっているのです。

一万六二七一名の減少というこの数字を考えてみます。四十人学級で換算すると四〇六学級減少していることとなります。一学年五学級規模の学校でいえば、二十七校がなくなっているもおかしくない数字です。現実には統廃合等でなくなったものは、県土の広さや、交通事情が配慮され、そこまで減少していないのが現状です。

少子高齢化という人口構成の変化に追いつけない社会が様々な問題を生み出していることは、紛れもない事実です。高校再編の問題も反対運動が起これば、すぐに公表した計画に待たがかります。なかなか前に進む気配が見られませんが、抜本的な改革が必要なのに、このままどこかの学校が勢いを失っていくのを見定めて統廃合をするのでしょうか？そういう考えは、「学校同士を競争させている」という見方が出来ます。

私個人としては、誰も経験したことのない急速な少子高齢化だからこそ「全く新しい発想で学校のあり方を考え、新たな価値を生み

出して、大きな変化を起こすこと」ができるチャンスと捉えるべきではないかと考えています。

少子化・高校再編問題に対処するには、学校だけではなく、地方自治体・地域住民・産業界などが協創してイノベーションをおこす必要があるのではないのでしょうか？

そのためには開かれた「討議の場」がどうしても必要であると考えています。



ロボット競技大会



ロードレース大会



高総体開会式

青雲同窓会総会

平成三十年八月二十五日(土)、青雲同窓会総会が花巻市石鳥谷町の「新亀家」で開催されました。出席者は例年の倍近い六十名うち新卒は二名の参加でした。

総会では平成二十九年度の経過報告・決算報告とともに、平成三十年年度の事業計画・予算案が提示され、承認されました。また、役員改選の年度に伴い、理事に平成四年度卒の佐藤智栄氏、監事には平成三年度卒の柴田晃子氏が新たに就任いたしました。また、東京支部の副支部長に昭和六十三年度卒の赤坂智仙氏が就任いたしました。懇親会では、「ビジネス情報科で作成した青雲マスコットキャラクター「くもくま」グッズの抽選会などを行い、各年代とも大いに盛り上がりました。

青雲同窓会 東京支部総会

平成三十年六月十六日(土)、青雲同窓会東京支部総会が東京都港区新橋の「うおや一丁」で開催されました。出席者は四十七名うち新卒は十一名の参加でした。

総会では、在校生の活躍について藤原会長からあいさつがありました。また、東京支部の佐々木支部長からは、「母校の活躍を関東から期待している」とエールをいただきました。懇親会では、新卒者一人一人の自己紹介などで大いに盛り上がり、終始和やかな雰囲気で開催することができました。



役員紹介

会長	藤原 康洋 (昭和55年度卒)
副会長	佐々木 俊幸 (昭和49年度卒)
副会長	中村 弘樹 (昭和60年度卒)
理事	多田 義明 (昭和43年度卒)
理事	千葉 俊明 (昭和54年度卒)
理事	高橋 幸治 (昭和55年度卒)
理事	岡田 知穂 (昭和57年度卒)
理事	三宮 真利 (昭和57年度卒)
理事	小野 英二 (昭和61年度卒)
新 理事	佐藤 智栄 (平成4年度卒)
理事	伊藤 淳 (平成11年度卒)

監事	伊藤 秀己 (昭和58年度卒)
監事	菊池 司 (昭和60年度卒)
新 監事	柴田 晃子 (平成3年度卒)
顧問	阿部 正介 (昭和43年度卒)
顧問	高橋 安之 (昭和46年度卒)

東京支部

支部長	佐々木 則司 (昭和49年度卒)
新 副支部長	赤坂 智仙 (昭和63年度卒)
事務局	荒瀬 富姫子 (昭和47年度卒)
事務局	中島 清郎 (昭和62年度卒)
顧問	菅原 崇人 (昭和45年度卒)

平成30年度 事業

〈平成30年〉

- 4月7日(土) 入学式 於 本校第一体育館
- 5月18日(金) 第1回理事会 於 本校小会議室
- 6月14日(木) 激励費交付式 於 本校多目的教室
- 6月16日(土) 東京支部総会 於 うおや一丁新橋店(東京都港区新橋)
- 7月13日(金) 第2回理事会 於 本校小会議室
- 8月25日(土) 定期総会 於 新亀家(花巻市石鳥谷町)
- 11月8日(木) 青雲講演会 於 本校第一体育館

演題 「草創期の花北商野球に学ぶ」
講師 昭和51年度全国高等学校野球選手権大会
甲子園出場 主将・投手 川村義信氏(昭和51年度卒)

〈平成31年〉

- 1月23日(水) 第3回理事会 於 本校小会議室
- 2月28日(木) 同窓会報第39号発行
- 同窓会入会式 於 本校多目的教室
- 3月1日(金) 卒業式
- 4月上旬 会計監査

青雲講演会

「草創期の花北商野球に学ぶ」



講師 昭和五十一年度卒業生

川村 義信氏

同窓生を講師として開催しております青雲講演会

が、平成三十年十一月八日(木)、本校第一体育館にて開催されました。講師は、昭和五十一年度卒業生の川村義信さんです。川村さんは花北商業高校独立の昭和四十九年に入学。硬式野球部に所属し、二年春は岩手県大会優勝・東北大会ベスト4。三年夏には主将・捕手として岩手県大会で優勝し、全国高校野球選手権大会(甲子園)に出場されました。卒業後も大学、社会人と野球を続け、いずれも全国大会へ出場した実績があります。

川村さんは「草創期の花北商野球に学ぶ」と題し、自身がこれまで野球を通じて経験したことの中から、後輩に役に立ててもらいたいことをたくさん話してくださいました。

はじめに、花巻北高校の

商業科から、花北商業として独立した経緯をお話くださいました。「進学のできる商業高校・部活動の盛んな高校」が独立当時の学校の目標で、昭和四十八年度に硬式野球部が設立し、花北商業の認知度を高めるために、野球で結果を出すことを期待されて部活動に取り組んでいたようです。

練習中のエピソードとして、当時は水を飲むことが禁止されており、水筒を土の中に入れてストローだけグラウンド上から出し、試行錯誤して水分補給をしていたそうです。また、雨が降った日の十キロランニングや、夏の大会に向けての五十メートル五十本ダッシュなど、非常にハードなトレーニングをしていたことをお話しされました。その成果が夏の岩手県大会に現れ、大会中は疲れることがなく、常に万全の状態です。

むことができたそうです。準決勝でライバル・高田高校、決勝では強豪・福岡高校に勝利し、優勝して甲子園出場を決めました。

優勝を決めて石鳥谷駅に戻っていると、駅前通りに人が溢れんばかりに来てくれて、大変な祝福をいただいたそうです。「こんなにたくさんの方に応援されたのか」と、驚いた様子もお話しされました。

甲子園出場にあたり、石鳥谷町から二百万円(現在だと五百万円相当)の寄付金をいただいたことや、全国で学校名を知ってもらうためにユニホームを「KITASHO」から「花北商高」に新調したこともお話しされました。甲子園では岩手県人会の方々が、旅館などから歓迎され、どこに行ってもお祭りのような感覚だったようです。試合は、山口県の柳ヶ浦高校と対戦し、先制点を奪ったものの、逆転を許して、惜しくも1対3で敗れてしまいました。

講演の後半では、主将としてチームをまとめてきたことの経験から、「リーダーに求められる条件」として、



- ① 絶対にぶれないこと(考えや行動を一貫する)。
- ② チームメイトから「いい人」と言われるようではダメ。
- ③ 人の悪口を絶対に言わない。
- ④ 自信をもって取り組むこと。

以上の四つが大切だとお話しされました。

また、最後には「人が嫌がることを進んでやれる人間になつてほしい」と、後輩に向けてメッセージをいただきました。何事に対しても積極的に取り組むことで、成果が変わってくるということです。生徒は、様々な場面で実践できるため、今回の講演会で学んだことを活用して今後の学校生活・人生に繋げてほしいと思います。

お忙しい中、貴重なお話をいただき、ありがとうございます。

生徒たちの感想

● 社会人となるにあたり、挨拶を徹底していこうと思います。特に学校外で地域の方々に積極的にやろうと思えました。仕事をすることで、組織の一員となるので、人のためになることを考え、嫌なことから逃げるのではなく、チャレンジ精神をもって生活していきたい。

● リーダーに必要な事として、ブレないことが挙げられ、共感しました。チームの基盤となる道をつくり、人を導く人間に絶対にブレない芯がなければ、信頼してついてきてくれる仲間も行く道を失ってしまいます。私も、自分のなかに必ずブレない芯・こだわりを持ち生活していきたいと考えました。

● 「人が嫌がることを進んでやれる人間に」という考えに共感し、どんな物事の中でも楽しさを見出す気持ちを持って、これからの生活、様々な物事に挑戦していきたいです。

同窓会員から

平成三年度卒業

柴田 晃子

高校を卒業してもう二十八年…。そんなに月日が経ったのだと感じながら在学中のことを思い返しています。私が入学したころは「花北商業高等学校」という名称で、商業科二クラス情報処理科一クラス計三クラス、学年一五名という、そんなに規模の大きくない、けれど公務員の合格率が県でトップだった高校でした。

いまから二十八年前、高校卒業後はすぐに就職しようと思っていたのと、自宅から自転車を通える近さがよくて、割と簡単に北商に進学しようと思ったものでした。入学後、部活動は陸上部のマネージャー。近所の先輩に誘われ、簡単に「はい」と返事をしたものの、これ

が結構大変でした。当時は外山先生が熱のこもった指導をされており、日報駅伝も上位にくい込む北商陸上部。マネージャーも走る人に負けず劣らず、思い出深い三年間でした。まだ古いほうの青雲会館での合宿。寝泊まりし、高校生ながら三十人分の食事の支度…。

夏休みは、冷蔵庫も何もない早坂高原での合宿。走る人も大変でしたが、食事の支度もなかなか大変でした。炊き立てのごはんでおにぎりや百個握った時は、手が真っ赤にはれ、そしてあぶに刺された！それも今はすべてがいい思い出です。

情報処理科では当時はコンピュータを学んでプログラミングをしたり、いまのようにWindowsなんてない時代、あの時はこんなにパソコンが普及するとは思いませんでした。振り返ると北商時代に得たものが、特に簿記で帳簿のあれこれを学べたことは、とても役にたつてお

ります。

卒業後は車のディーラーに就職し、その後退職して今は、自営（化粧品）の仕事をしているのですが、思えばクラスメイト、先輩、後輩、多くの仲間を支えられて仕事をさせてもらっている、と改めて北商時代の繋がりに感謝です。

先日、三年ぶりにクラス会をしました。その前は五年前に学年全体で同窓会をしました。その時は五十五人くらい来たのでしょうか。学年により集まる頻度は違うのですが、うちの学年は本当によく集まっていると思います。今も繋がっている人が多いのだなと、とても嬉しく思っています。

お酒を飲みながら、お互いの近況報告。その時々によつて報告の内容が違つてきますが、最後はグルングルンに酔っ払いながら、励まし合ったり、元気づけたり、仲間って本当にいいなと、毎回そう思います。

卒業して二十八年経ち、四十五歳になりました。月並みですが本当にあつたという間の日々でした。仲間を支えられ、助けられ、おかげ

さまと思える今があるのは、あの三年間があつたからと、本当に感謝の思いです。

これからも節目の度にみんなと集まり、たわいもないことでグラグラ笑い、歳をとつていきます！

これからも未来へ邁進し続けます。ありがとうございました。

激励費交付式

同窓会では、部活動や各種競技会で東北大会以上に出場した際に、一人につき五千円の激励費を交付しております。今年度は六月十四日(木)本校多目的教室において、対象の生徒二十五名が同窓会長より激励費を受け取りました。同窓会長からは「母校の活躍を新聞で見ると楽しみ。上位大会でも自信を持ってプレーしてほしい」と、激励のことばをいただきました。最後に、生徒代表としてバドミントン部女子主将



新聞記事より

35日 2版 (岩手県) 2018年(平成30年)7月4日

女子野球部員も熱い夏

花北青雲野球部の練習風景。2018年、県内唯一の女子硬式野球部として男子と同じく練習している。卒業後女子プロ野球で活躍し、甲斐の選手として活躍している。県立青雲野球部の練習風景。2018年、県内唯一の女子硬式野球部として男子と同じく練習している。卒業後女子プロ野球で活躍し、甲斐の選手として活躍している。

高校硬式県内唯一 藤原さん(花北)

岩手大会、チーム鼓舞



県内唯一の女子硬式野球部員として練習に励む花北青雲高の藤原春香さん。3日、花巻市石巻台町

岩手日報 平成30年7月4日

マスクットキャラクター「くもくま」

ビジネス情報科2年生のマーケティング授業において誕生しました。応募64点から生徒・教職員・保護者らに投票してもらい、最多票を集めたのが「くもくま」です。背負う物によって、各学科それぞれの特徴が表れています。今後様々なイベントにおいて、くもくま君の活躍が期待されます!!

- そろばん：ビジネス情報科
- スパナ：情報工学科
- フライ返し：総合生活科



全商検定・電卓1級

高橋さん(花北青雲) 満点合格

「定善」花巻市の県立があり、正定だけでなく驚いた。狙っていた花北青雲高校ビジネス情報科の満点合格。同校では昨年より男子生が部活動で電卓に取組んでいる高橋さんは、1年生で部活動で電卓に取組んでおり、2年生の快挙。電卓検定試験、1年生で部活動で電卓に取組んでおり、2年生の快挙。電卓検定試験、1年生で部活動で電卓に取組んでおり、2年生の快挙。



全商実務検定の電卓の部1級で満点表彰を受けた高橋さん

岩手日報 平成30年8月31日

時に比べるとスピードが、ことを実感できたので、上がったという。これからこの検定合格に向けて頑張りたい。勉強すれば付く」と意気込んでいる。

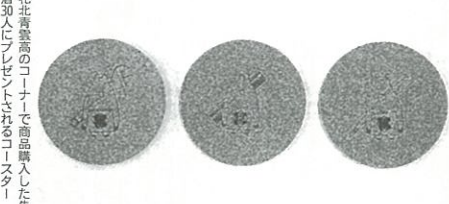


新しい仲間「くもくま」

花巻市石巻台町の花北青雲高(佐藤 隆副校長、生徒472人)は生徒が提案した「くもくま」をマスクットキャラクターに選定し、7日(同日で開催される道の駅石巻島尻周年感謝祭)で披露する。関連グッズの販路や無料配布も行い、感謝祭を盛り上げようとする。学校のPR役も担うユニークな取り組みで注目を集めた。

選定は、同校リネス情報科の4月のマーケティング授業(選択制)で、2年生の生徒が「キャラクター」を作り出したアイデアだったが、生徒の意見を取り入れて、スパナを背負った情報工学科、フライ返しを背負った総合生活科に投票してもらい、最多票を集めた。

グッズ販売、無料配布も



「くもくま」は校内にも出渡す。クマからは「新しい仲間」という高橋さん(1)の思いを持ってもらえるようなデザインに仕上がった。青雲の発展に貢献するように活用してほしい」と思いを込める。

岩手日報 平成30年7月7日

大久保さん(宮古)が暗唱1位

スピーチは伊藤さん(花北)



暗唱部門1位の大久保美里さん(左)とスピーチ部門1位の伊藤春樹さん

第38回県商業高校英語スピーチコンテスト(県高校)商業教育協会主催は20日、雲3年の伊藤春樹さんが1位に輝き、全国大会(来年1月13日、東京都)に出場した。

岩手日報 平成30年10月21日

- 北上② ④木村愛海(宮古商)
- ②高橋夕夏(北上翔南)
- ③佐藤大郎(水沢南)
- ④スピーチ ②金野之華(花北青雲)
- ③佐々木彩(盛岡誠校)
- ④山崎美羽(宮古商)
- ②中井演(盛岡商)
- ⑤菊地素雅(盛岡商)

専門技術地域に貢献

花北青雲高 情報工学科 公園の園名板製作

岩手日報

平成30年(2018)11月21日 (水曜日) (14)

【花巻】園名板製作。市内に点在する公園を管理する市に依頼された青雲高情報工学科の生徒が、園名板の製作に貢献している。園名板の製作は、市内にある公園の名を記した園名板を製作することである。この作業は、市内にある公園の名を記した園名板を製作することである。この作業は、市内にある公園の名を記した園名板を製作することである。



花巻市内の公園の園名板を製作している花北青雲高3年生



製作した看板の様子。ぜひ現地へ足を運んでご覧になってください! (桜台西公園と桜台東公園)



2018年(平成30年)11月30日(金曜日)
同窓会の試験は9月16日に同校で実施。プログラミングの試験はJava、マウスの操作、情報処理検定1級プログラムの試験など、様々な課題が出題された。

情報処理検定1級・プログラミング

県内唯一、努力実る

川村さん 花北青雲高 満点



花巻市石巻町北寺林の花北青雲高(仮称)情報工学科の生徒472人。2年の川村優希さんは、全国商業高等学校協会主催の情報処理検定試験1級プログラムの試験に、県内で唯一の満点を挙げた。本県では満点が出るのは年あたり、積み重ねてきた努力の結果だ。

情報処理検定試験1級プログラムの本県で唯一の満点を誇る川村優希さん

同窓会にまで全国で600人分受験し、1200人が合格、満点は6人だった。川村さんは4月からプログラミングの勉強を始め、授業で学んだことを実践し、26人合格した。川村さんは「プログラミングの勉強は、基礎からしっかり学んでいくことが大切だ」と話している。

岩手日報 平成30年11月21日

岩手日報 平成30年12月3日

岩手日報 平成30年11月30日

生徒開発品など好評

冬マルシェ 花北青雲高生も出店



【花巻】花巻市石巻町北寺林の花北青雲高(仮称)3年生が、冬マルシェに出店した。生徒が開発した商品が好評で、多くの人が購入した。

花北青雲高の生徒も出店した冬マルシェ

生徒が開発した商品が好評で、多くの人が購入した。生徒が開発した商品が好評で、多くの人が購入した。

同窓会事務局より

同窓会の大きな役割として、同窓会名簿の整備作業があります。これは同窓生の皆さんへの連絡をスムーズに行うために不可欠なものです。引越・転勤・婚姻等により登録内容に変更が生じましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

住所変更の連絡にご協力を

青雲会館の清掃について

年末、部活動の生徒を中心に青雲会館の大掃除を行いました。生徒の頑張りでもとてもキレイになりましたが、厨房の細かい部分や、天井の高い箇所までは作業できませんでした。そのため、2月4日(月)に業者清掃に入らせていただき、清掃が難しい部分を中心に清掃していただきました。また、床のワックス清掃も実施し、ピカピカになりました。これからも大切に使用していきます。

天井周り



作業前



作業後

床



作業前



作業後

平成30年度部活動成績

全国大会出場

バドミントン部

第69回全国高等学校バドミントン選手権大会(インターハイ)

女子学校対抗 菊地一希・山口 健

女子ダブルス 中島陽菜・吉村美耶

第37回全日本ジュニアバドミントン選手権大会

ダブルス 柳村優歌・高橋美秋

卓球部

全国高等学校選抜卓球大会 個人対抗

男子シングルス 小田島和希

第42回全国高等学校総合文化祭 信州大会

小倉百人一首かるた部門 岩手県チーム 大泉 櫻

OAB部

第65回全国高等学校ワープロ競技大会

第38位 城戸 翔

【教科等】 第30回全国高等学校情報処理競技大会

平 理沙

第35回全国商業高等学校スピーチコンテスト

伊藤春樹

ジャパンマイコンカーラリー 2019全国大会

藤館歩夢 完走24秒32

東北大会出場

第47回東北高等学校バドミントン選手権大会

女子学校対抗 ベスト8 個人対抗 男子ダブルス

菊地一希・山口 健

安ヶ平春輝・佐々木詩音

女子ダブルス

中島陽菜・吉村美耶

若生遥奈・伊藤穂南

佐々木梨子・高橋美秋

男子シングルス

菊地一希 (2回戦進出)

山口 健、安ヶ平春輝

女子シングルス

中島陽菜 (2回戦進出)

三瓶萌梨 (2回戦進出)

若生遥奈、柳村優歌、佐々木梨子

少年男子 菊地一希

少年女子 中島陽菜、三瓶萌梨、吉村美耶

第47回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会

女子学校対抗 3回戦進出

個人対抗 女子ダブルス

吉村美耶・佐々木梨子

柳村優歌・高橋美秋

男子シングルス 砂川竜輝

女子シングルス 高橋美秋

男子団体 出場

卓球部

第72回東北高等学校卓球選手権大会

男子シングルス 菅原真吾

女子ダブルス 高橋優衣・玉山愛莉

男子シングルス 高橋美秋

女子団体 出場

花北青雲粘り勝ち



四回裏 機転の一打で突破口

【岩手県 4月3日】 花北青雲高等学校野球部のメンバーが、4月3日(土)に開催された、岩手県大会予選会において、4月3日の試合で、

陸上競技部

第73回東北高等学校陸上競技大会

女子やり投げ 第13位 佐々木雅

第23回東北高等学校新人陸上競技選手権大会

女子やり投げ 第4位 佐々木雅

第45回東北六県高等学校珠算・電卓競技大会

駒込 悠、大崎 藍、中里 萌

後藤風香、松田麻由、高橋里奈

【文芸部】 第11回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

岩手県チーム 大泉 櫻 第7位

第25回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会

岩手県チーム 大泉 櫻 第4位

【OAB部】 第56回東北六県高等学校ワープロ競技大会

団体の部 第3位

個人の部 (城戸 翔、主濱 廉、佐藤聖悟)

第4位 城戸 翔 正確賞 城戸 翔

野球部

第65回春季東北地区高等学校野球岩手県大会

ベスト16

花北青雲 八回に勝ち越す

岩谷空競り勝ち、水沢尚は逆転負け 花北青雲 八回に勝ち越す 岩谷空競り勝ち、水沢尚は逆転負け



岩手日報 平成30年7月10日

岩手日報 平成30年9月18日

岩手日報 平成30年7月10日



女子団体決勝 花北青雲一盛岡市立 花北青雲第1ダブルス、中島陽菜(左)が強烈なスマッシュを放つ。前衛は吉村美耶

▼▼花北青雲 吉村美耶(2年)と組んでシャトルを飛ばしつづけても、エース陣のエース中島陽菜は、花北青雲のエース中島陽菜は、ダブルスマッシュを放つ。前衛は吉村美耶



女子団体 5連覇を果たした花北青雲

り目標に掲げ「全国で戦うためには、自分の力だけでは足りない」と、練習を積み重ねてきた。高校1年生でインターハイに出場した経験もあり、

喜男

【喜男】 喜男部員は、練習の甲斐もあって、大会で活躍した。喜男部員は、練習の甲斐もあって、大会で活躍した。



喜男部員が優勝した瞬間

岩手日報 平成30年6月3日

女子は花北青雲 攻め貫き5年連続頂点

【女子バドミントン】 花北青雲は、女子バドミントンで5年連続の全国大会出場を果たした。女子バドミントン部員は、練習の甲斐もあって、大会で活躍した。

【野球部】 第65回春季東北地区高等学校野球岩手県大会

岩手日報 平成30年6月3日

岩手日報 平成30年7月10日

- 第63回若手県種目別バドミントン選手権大会
 - 男子ダブルス 優勝 菊地一希・山口 健
 - ベスト8 安ヶ平春輝・佐々木詩音
 - 女子ダブルス 優勝 中島陽菜・吉村美耶
 - ベスト8 三瓶萌梨・柳村優歌
- 男子シングルス 準優勝 菊地一希
- ベスト8 安ヶ平春輝、砂川竜輝
- 女子シングルス 優勝 中島陽菜
- 準優勝 三瓶萌梨
- 第3位 吉村美耶
- ベスト8 柳村優歌、若生遥奈、佐々木梨子

- 女子学校対抗 優勝
 - 第70回若手県高等学校総合体育大会卓球競技 男子学校対抗 ベスト8 個人対抗 男子シングルス 4回戦進出 菅原真吾
 - 女子ダブルス 第3位 高橋優衣・玉山愛莉
 - 第64回若手県高等学校新人大会卓球競技 男子学校対抗 第3位
 - 第42回東北高等学校選抜卓球大会 若手県予選 男子 県第三代表認定
- 【バレーボール部】
 - 第70回若手県高等学校総合体育大会バレーボール競技 男子 ベスト16
 - 第66回若手県高等学校新人大会バレーボール競技 男子 ベスト16
 - 女子 ベスト16
- 【ソフトボール部】
 - 第70回若手県高等学校総合体育大会ソフトボール競技 ベスト8
 - 第11回若手県高校女子ソフトボール大会 第3位
 - 第65回若手県高等学校新人大会ソフトボール競技 第3位
 - 第24回若手県高等学校新人選抜ソフトボール大会 第3位
- 【男子サッカー部】
 - 高円宮杯U-18サッカーリーグ2018 1.LEAGUE D3 中部 第2位 年間 5勝3敗
 - 第97回全国高等学校サッカー選手権大会 若手県大会 ベスト16
- 【女子サッカー部】
 - 第70回若手県高等学校総合体育大会女子サッカー競技 第3位
- 【陸上競技部】
 - 平成30年度春季陸上競技大会

- 女子やり投
 - 第70回若手県高等学校総合体育大会陸上競技 1部女子やり投 第6位 佐々木雅
 - 若手県陸上競技選手権大会 2部女子やり投 第2位 佐々木雅
 - 2部男子三段跳 第7位 千葉雄平
 - 第70回若手県民大会 10部走幅跳 第8位 佐々木美華
 - 10部やり投 第1位 佐々木雅
 - 2018北上フイールド競技会 女子やり投 第7位 佐々木雅
 - 第69回若手県高等学校新人陸上競技大会 女子やり投 第1位 佐々木雅
- 【吹奏楽部】
 - 平成30年度全日本吹奏楽コンクール 第56回若手県大会 高等学校の部 銅賞
 - 平成30年度若手県高等学校 珠算・電卓競技大会 珠算団体総合競技 第2位
 - 電卓団体総合競技 第3位
 - 電卓読上算競技 個人 第1位 後藤風香
 - 電卓伝票算競技 個人 第3位 松田麻友
 - 平成30年度若手県高等学校 新人珠算・電卓競技大会 珠算団体総合競技 第2位 (大崎・駒込・中里)
 - 電卓団体総合競技 第2位 (後藤・高橋・松田)
- 【文芸部】
 - 第25回若手県高等学校かるた選手権大会 A級 第2位 大泉 櫻
 - 団体戦 第2位 青雲Aチーム (千葉・三浦・照井・大泉・佐々木)

- 詩部門 優良賞 川辺真子
- 児童文学部門 入選 田面山沙希
- 短歌部門 入選 川村純華
- 俳句部門 入選 川村純華
- 部誌部門 入選『軌 第四十一号』
- 小倉百人一首かるた部門 A級 第6位 大泉 櫻
- B級 第1位 菅原真唯
- 第2位 伊藤 基
- 第3位 滝浦ゆいな
- 第29回全国競技かるた水沢大会 E1級 第4位 佐藤麻衣、細川修太郎
- 第16回若手県かるた団体戦 第3位 (大泉・佐々木・松田・照井・鎌田・細川)
- 第16回末の松山杯争奪北東北中・高校生かるた大会 A級 第5位 大泉 櫻
- B級 第1位 佐々木愛梨
- 第1回全国競技かるた秋田大会 D3級 優勝 大泉 櫻
- 東北北海道高校かるたウィンタートーナメント D1級 第2位 細川修太郎
- 第64回若手県かるた選手権大会 B級 優勝 三浦駿介
- 第2位 細川修太郎
- 第5位 菊池恭平
- 第32回東洋大学「現代学生百人一首」高校生入選 照井結奈
- 【O.A部】
 - 平成30年度若手県高等学校 ワープロ競技大会 団体の部 第2位 個人の部 第2位 城戸 翔
 - 平成30年度若手県 新人ワープロ競技大会 個人の部 第4位 及川雄斗
- 【情報工学科】
 - ジャパンマイコンカーラリー 北東北地区大会 第5位 全国大会出場認定 藤館歩夢
 - 平成30年度技能検定 数値制御旋盤3級 金賞 菊池 進
- 【ビジネス情報科】
 - 若手県高等学校情報処理競技大会

卒業証書

岩手県立花北青雲高等学校

お知らせ

同窓会では毎年、卒業記念品として卒業証書ホルダーを贈っております。

団体の部 第3位 個人の部 優良賞 平 理沙

○第59回全商情報処理検定試験 プロگرامミング部門 第1級 満点合格 川村純華

○第136回全商珠算・電卓実務検定試験 電卓の部 第1級 満点合格 高橋里奈

○第63回若手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会 学校家庭クラブの部 優秀賞

○平成30年度牛乳・乳製品利用料理コンクール若手県大会 優良賞 伊藤音夢、近江愛華

○第2回カレッジランプリ 敢闘賞 齋藤梨々花

○第6回学生ファッションデザイン奨励賞 宮川歩実

【教科等】

○第38回若手県商業高等学校英語スピーチコンテスト スピーチ部門 第1位 伊藤春樹

第2位 金野乙華

○第41回若手県高等学校総合文化祭 書道部門 秀作賞 藤原知世、若生遥奈

入選 佐藤慧果、阿部太一

文芸部門 入選 牛崎菜々子